

報道関係者 各位

2023 年 9 月 20 日

日本工営株式会社

株式会社福山コンサルタント

株式会社ケー・シー・エス

株式会社マクニカ

久留米工業大学

**佐賀県で初の自動運転の公道実証実験を実施
～社会実装を想定した自動運転車両等の試乗・体験会～**

ID&E ホールディングス株式会社の子会社である日本工営株式会社は、株式会社 FC ホールディングスの子会社である株式会社福山コンサルタント、株式会社ケー・シー・エス、株式会社マクニカ、久留米工業大学と共同で、佐賀県嬉野市とともに佐賀県で初となる自動運転車両の公道走行の実証実験（自動運転レベル 2）を嬉野市において実施します。

日本工営株式会社、株式会社福山コンサルタント、株式会社ケー・シー・エスは、3 社で JV を組成し、内閣府の未来技術社会実装事業に選定された「嬉野市未来技術地域実装事業」を 2021 年度から受注しており、「来訪者の移動を支えるモビリティサービス」をテーマに自動運転車両等の地域実装を目標に事業を進めてきました。

2023 年度は、運行上の課題や社会受容性の検証を行うとともに、旅館や商店街等の活性化等、まちづくりに与える効果も視野に検討を進めており、その一環として 9 月 25 日（月）から 10 月 9 日（月）までの 15 日間、以下のとおり、株式会社マクニカが提供する自動運転 EV バス^{*1}と遠隔監視システム・センター^{*2}を設置して、公道における試運転及び試乗会を実施します。また、JR 嬉野温泉駅前では、久留米工業大学（インテリジェント・モビリティ研究所）で開発した「AI 対話型自動運転システム」を電動車いすに搭載した自動運転パーソナルモビリティ^{*3}の実証実験も合わせて実施します。

Phase 1：9 月 25 日（月）～10 月 1 日（日）：試乗者なしでの試運転

Phase 2：10 月 2 日（月）～10 月 9 日（月）：体験試乗会

詳細は、嬉野市ホームページ掲載の以下の資料をご覧ください。

https://www.city.ureshino.lg.jp/shisei/keikaku/_28638/_29405.html

今後は、実証実験結果を基に、自動運転車両やパーソナルモビリティの社会実装を目指して、関係者と協議を重ねつつ検討を進めていきます。

日本工営は今後も、ICT を活用しながらインフラやまちづくり高度化を推進し、インフラの管理者のみならず利用者を含め、より多くの方々の安全・安心な生活に貢献してまいります。

【本実証実験の概要】

- 日程 : 2023年9月25日（月）～10月1日（日）：試乗者なしでの試運転
2023年10月2日（月）～10月9日（月）：体験試乗会
- 時間 : 10時25分～16時05分頃（1日10便程度）
- 自動運転車両：自動運転EVバスNAVYA ARMA
- 自動運転レベル：レベル3自動運転システム（運行時はレベル2で走行）
- 走行ルート : 嬉野温泉駅西口と嬉野温泉バスセンターの間を往復するルート



- 参加方法：実験へのご参加については、嬉野市HPのお知らせをご確認ください。
https://www.city.ureshino.lg.jp/shisei/keikaku/_28638/_29405.html

- 運行ダイヤ：下表の時間帯に運行します。

		嬉野温泉駅		バスセンター
午前	1 便	10 : 25	➡	10 : 45
	2 便	11 : 05	⬅	10 : 45
	3 便	11 : 25	➡	11 : 45
	4 便	12 : 05	⬅	11 : 45
午後	5 便	13 : 25	➡	13 : 45
	6 便	14 : 05	⬅	13 : 45
	7 便	14 : 25	➡	14 : 45
	8 便	15 : 05	⬅	14 : 45
	9 便	15 : 25	➡	15 : 45
	10 便	16 : 05	⬅	15 : 45

* 1 : 自動運転EVバスNAVYA ARMA

ARMAは自動運転EVシステムを搭載した自動運転シャトルバスです。EV（電気自動車）仕様となり、1回の充電で約9時間（100km）の自動走行が可能です。

全長：4,750mm

全高：2,650mm

全幅：2,110mm

重量：2,400kg

車両総重量：3,450kg

乗客定員：10人(乗客8名+乗務員2名)

動力源：電動モーター

最高速度：18km/h（運行時は平均速度10km/h程度）

自動運転レベル：レベル3相当

その他：緊急時は同乗のドライバーが手動介入

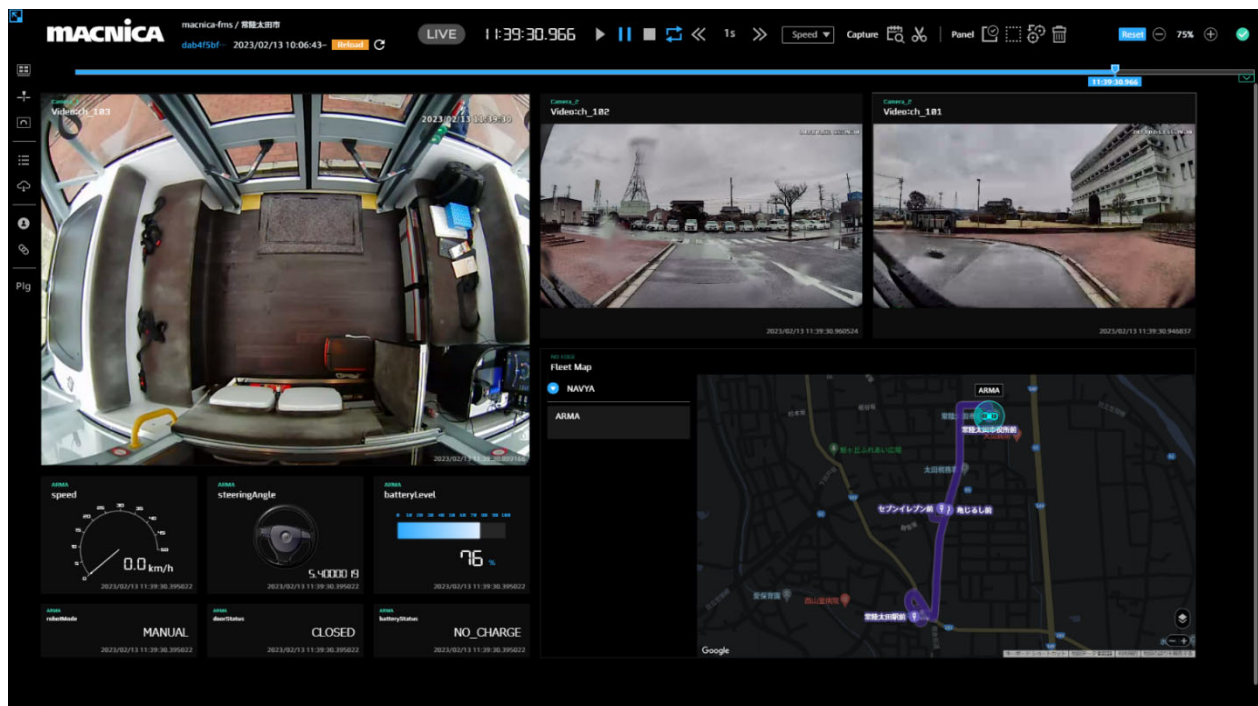


本実証実験にて使用する自動運転EVバスは、マクニカと芙蓉総合リース株式会社及び芙蓉オートリース株式会社が共同で構築した「自動運転実証実験支援サービスプログラム」により提供します。詳細は以下URLをご参照ください。

<https://www.macnica.co.jp/business/maas/news/2021/136501/>

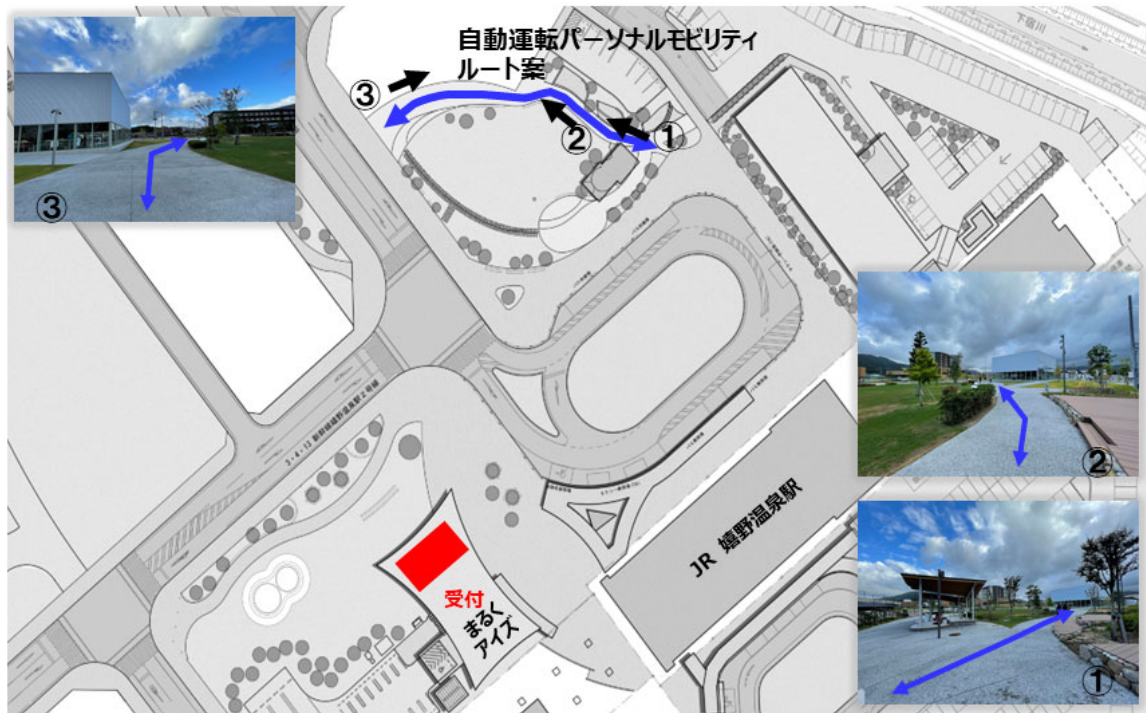
* 2 : マクニカモビリティデータプラットフォーム(遠隔監視システム)

車両に取り付けられたセンサー(GPS、カメラ等)と車両のCAN情報(车速、回転数、ステアリング舵角等)を収集し、高品質な伝送方式を用いてクラウドへデータを保存することで、監視者1人が遠隔からクラウドにアクセスし、リアルタイムで複数車両のモビリティの状況確認ができます。その他、蓄積されたデータから過去の状況確認、データ分析、AI活用にも応用活用できます。遠隔監視システムの活用により、社会課題の働き手不足の解消を目指します。



【パーソナルモビリティ実証実験の概要】

- 日程 : 2023年10月2日（月）～10月9日（月）
- 時間 : 10時00分～16時30分頃
- 車両 : 自動運転パーソナルモビリティ
- 参加方法 : 特に事前予約等はございませんので、お気軽にお声がけください。



* 3 : 自動運転パーソナルモビリティ

久留米工業大学が産学官連携で開発した「AI対話型自動運転システム」をWHILL社の電動車いすに搭載した小型自動運転モビリティで、NTTドコモと共同開発した「5Gリモート手助け（遠隔操作、TV通話）」機能も搭載しています。

2015年に開発をスタートし、これまでに吉野ヶ里歴史公園や東京ドームシティといった大規模テーマパークや美術館、ショッピングモール、空港、病院、介護施設など様々な場所で実証試験を実施してきました。近年では、観光庁のプロジェクトとして、自動運転とMR、VRを融合した新たな観光コンテンツの開発や、東京都お台場での実証試験にも取り組んでいます。

また、「PARTNER MOBILITY ONE」は、複数人で利用可能なモビリティとなっています。

■ パートナーモビリティ（車いす型）

【自動運転システムの特徴】

- (1) 屋外、屋内どちらにも対応し、様々なシーンに導入可能
- (2) AI衝突回避や5G遠隔操縦などで万一のリスクを回避
- (3) 様々なモビリティやロボットに搭載可能



■ PARTNER MOBILITY ONE



展示のみ

◇ 日本工営株式会社について

日本工営は、世界中の人々の安全・安心を支える国内 No.1 の建設コンサルタントです。1946 年の創業以来、日本の建設コンサルティングのリーディングカンパニーとして社会基盤の整備を事業として社会課題解決に携わり、160 以上の国と地域において国づくり・人づくりの根幹に関わるサステナブルなビジネスを展開しています。詳細は Web サイト (<https://www.n-koei.co.jp/consulting/>) をご覧ください。

■ 日本工営株式会社 会社概要

所在地 : 東京都千代田区麹町 5 丁目 4 番地

設立 : 1946 年 6 月 7 日

事業内容 : コンサルティング事業

日本国内外における河川・水資源、上下水道、農業農村整備・開発、ダム・発電、交通・運輸（道路・鉄道・港湾・空港）、都市・地域開発、地質・防災・砂防、環境、情報システムなどに係わる調査、計画、評価、設計、工事監理、マネジメント等

URL : <https://www.n-koei.co.jp/consulting/>

■ ID&E ホールディングス株式会社 会社概要

所在地 : 東京都千代田区麹町 5 丁目 4 番地

設立 : 2023 年 7 月 3 日

事業内容 : 傘下のグループ会社の事業活動の管理およびこれに付帯・関連する業務

URL : <https://www.id-and-e-hd.co.jp/>

◇ 本プレスリリースに関して

■ 本実証実験に関するお問合せ先

日本工営株式会社 福岡支店 交通都市部

E-mail : ml-nk-ureshino-mirai@dx.n-koei.co.jp

■ 本件に関する報道関係者からのお問合せ先

ID&E ホールディングス株式会社 コーポレートコミュニケーション室

TEL : 03-5276-2454 E-mail : c-com@n-koei.co.jp